

2023年度

「授業評価アンケート」の結果  
および評価報告書  
(後期)

北海商科大学

## 目 次

I. 授業評価アンケートの実施について	3
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	3
2. 調査の実施方法	3
3. アンケート回収結果	3
4. アンケート調査項目	4
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	8
6. 教員返却用集計フォーム	9
II. 集計結果について	11
1. 全科目の単純集計結果について	11
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	14

## I. 授業評価アンケートの実施について

### 1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学に課せられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく、教育方法改善委員会のもとで2009年度より継続して調査・点検が行われてきました（2020年度は新型コロナウイルス感染症により異なる方法にて実施）。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたび2023年度後期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告いたします。

### 2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：CoursePowerを利用したアンケート調査
- (2) 調査期間：2024年1月10日(水)～1月31日(水)
- (3) 調査対象：開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含む全ての授業）。  
ただし、履修者2名以内の科目は除く。
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。「学生の行動」「授業手法・教員の行動」「授業内容」「教育効果」などに関する「選択式回答21項目」「自由記述回答3項目」で回答を得る。

### 3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1の通りです。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A) 対象 クラス数	(B) 実施 クラス数	(C) 実施率 (B/A)%	(E) 対象クラ ス受講者数	(F) 実施クラ ス回答者数	(G) 回答率 (F/E)%
(1) 異文化交流科目（語学）	10	10	100	128	78	60.9
(2) 異文化交流科目 社会と文化 （異文化ゼミナール）	8	8	100	139	89	68.5
(3) 異文化交流科目 社会と文化 （異文化ゼミナール以外）	20	20	100	963	563	58.5
(4) 専門基礎科目	13	13	100	613	347	56.6
(5) 専門関連科目	23	23	100	788	427	54.2
(6) 商学科専門科目	37	37	100	1,024	317	31.0
(7) 観光産業学科専門科目	24	24	100	511	285	55.8
(8) 専門キャリアアップ科目	14	14	100	231	123	53.2
(9) 教職に関する科目	10	10	100	62	14	22.6
合計	159	159	100	4,450	2,243	50.4

#### 4. アンケート調査項目

Q1. この授業を選択した理由は何ですか。（必須）

- 5 興味・関心があったから
- 4 役に立ちそうだったから
- 3 卒業に必要だったから
- 2 時間が空いていたから
- 1 友人等に薦められたから
- 0 何となく

Q2. この授業への出席率は何%ですか。（必須）

- 5 80%以上
- 4 60%以上
- 3 40%以上
- 2 20%以上
- 1 ほとんど出席していない

Q3. 授業中（オンデマンド型授業を含む）、その時間内は集中できましたか。（必須）

- 5 大変集中した
- 4 ある程度集中した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり集中しなかった
- 1 全く集中しなかった
- 0 よくわからない

Q4. 授業のなかでわからないことがあれば質問しましたか。（必須）

- 5 よく質問した
- 4 ある程度質問した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり質問しなかった
- 1 全く質問しなかった
- 0 よくわからない

Q5. シラバスに学習時間（予習・復習）等の内容が記載されておりますが、当該科目の1週間の平均的な学習時間（予習・復習・課題）はどれくらいですか。（必須）

- 5 4時間以上
- 4 3時間以上4時間未満
- 3 2時間以上3時間未満
- 2 1時間以上2時間未満
- 1 1時間未満

Q6. 教員は十分な準備と熱意で授業を行ったと感じましたか。（必須）

- 5 十分な準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 4 準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 3 どちらともいえない
- 2 十分とはいえないと感じた
- 1 不十分であったと感じた
- 0 よくわからない

Q7. 教員が授業で話す言葉は、明瞭で聞き取りやすかったですか。（必須）

- 5 非常に明瞭で聞き取りやすかった
- 4 明瞭で聞き取りやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり明瞭ではなかった
- 1 聞き取りにくかった
- 0 よくわからない

Q8. 授業の進行速度はどう思いましたか。(必須)

- 5 非常に良い
- 4 良い
- 3 普通
- 2 あまり良くない
- 1 良くない
- 0 よくわからない

Q9. 教員は学生の理解度を確認し、必要に応じて補足しましたか。(必須)

- 5 非常によく補足した
- 4 よく補足した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり補足しなかった
- 1 まったく補足しなかった
- 0 よくわからない

Q10. 教員は、対面・遠隔授に応じて、黒板や視聴覚機器などを有効かつ適切に使用してましたか。(必須)

- 5 非常に有効かつ適切に使用していた
- 4 ある程度有効に使用していた
- 3 どちらともいえない
- 2 有効かつ適切ではなかった
- 1 不適切であった
- 0 よくわからない

Q11. (対面授業の場合) 教員は私語などの講義を妨害する不適切な行動を止めていましたか。(必須)

- 5 止めていた
- 4 ときどき止めていた
- 3 どちらともいえない
- 2 ほとんど止めていなかった
- 1 まったく止めていなかった
- 0 よくわからない

Q12. 教員は学生の質問に適切に対応しましたか。(必須)

- 5 非常に適切に対応した
- 4 ある程度適切に対応した
- 3 どちらともいえない
- 2 対応していなかった
- 1 まったく対応していなかった
- 0 よくわからない

Q13. レポートや課題、小テストは授業の理解に役立ちましたか。(必須)

- 5 非常に役に立った
- 4 ある程度役に立った
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立たなかった
- 1 全く役に立たなかった
- 0 よくわからない

Q14. 試験回数や採点方法は適切でしたか。(必須)

- 5 非常に適切であった
- 4 ある程度適切であった
- 3 どちらともいえない
- 2 適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなかった
- 0 よくわからない

Q15. 教科書や配布資料は分かりやすいものでしたか。(必須)

- 5 非常にわかりやすかった
- 4 ある程度わかりやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 わかりやすくはなかった
- 1 わかりにくかった
- 0 よくわからない

Q16. 授業内容はよく理解できましたか。(必須)

- 5 非常によく理解できた
- 4 ある程度理解できた
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり理解できなかった
- 1 全く理解できなかった
- 0 よくわからない

Q17. 授業展開はシラバス(講義概要)に沿ったものでしたか。(必須)

- 5 シラバスに沿ったものであった
- 4 おおむねシラバスに沿ったものであった
- 3 どちらともいえない
- 2 シラバスに沿った点は少なかった
- 1 シラバスに沿ったものではなかった
- 0 よくわからない

Q18. 授業内容は今後の勉学や社会生活に役立つと思われましたか。(必須)

- 5 非常に役に立つと思う
- 4 ある程度役に立つと思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立つと思わない
- 1 全く役に立つとは思わない
- 0 よくわからない

Q19. 授業は知的好奇心を刺激し、さらに学習の意欲をかきたてるものでしたか。(必須)

- 5 知的好奇心を強く刺激され、さらに学習の意欲もかきたてられた
- 4 ある程度知的好奇心は刺激された

- 3 どちらともいえない
- 2 知的な好奇心は刺激されなかった
- 1 知的な好奇心は全く刺激されなかった
- 0 よくわからない

Q20. 遠隔授業の場合、教員による遠隔授業の準備や運営方法は適切で学習しやすかったですか。(必須)

- 5 非常に適切で学習しやすかった
- 4 ある程度学習しやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなく学習しにくかった
- 0 よくわからない

Q21. 授業は全体として満足できるものでしたか。(必須)

- 5 非常に満足できた
- 4 満足できた
- 3 どちらともいえない
- 2 満足できなかった
- 1 まったく満足できなかつた
- 0 よくわからない

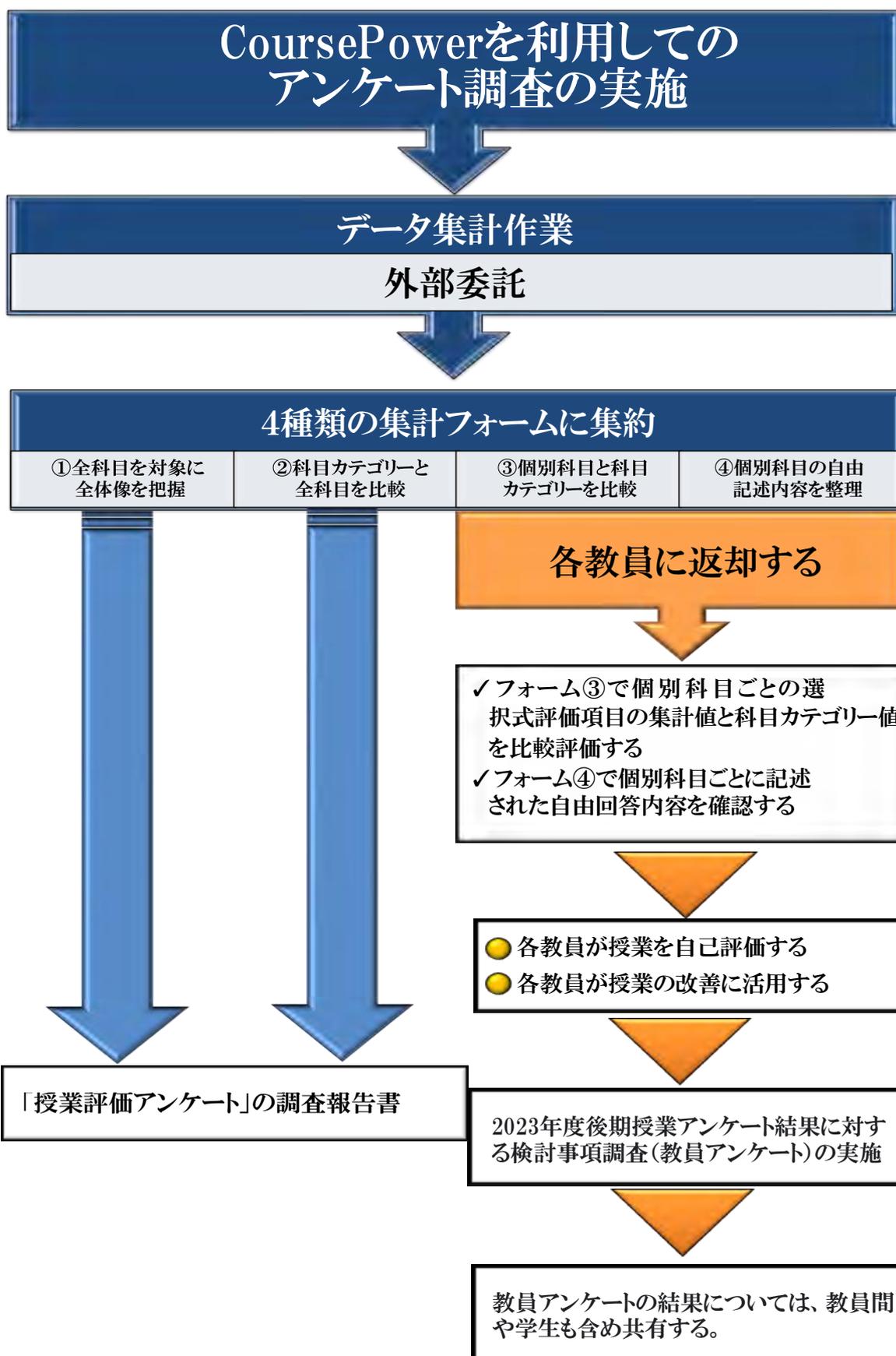
Q22. この授業で特に良かった点は何ですか。 ※300文字まで入力可

Q23. この授業で特に改善してほしい点は何ですか。 ※300文字まで入力可

Q24. その他に意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。) ※300文字まで入力可

#### 5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



6. 教員返却用集計フォーム

各教員に返却された前ページの集計フォーム③、④のサンプルを以下に掲げます。

授業アンケート結果集計表

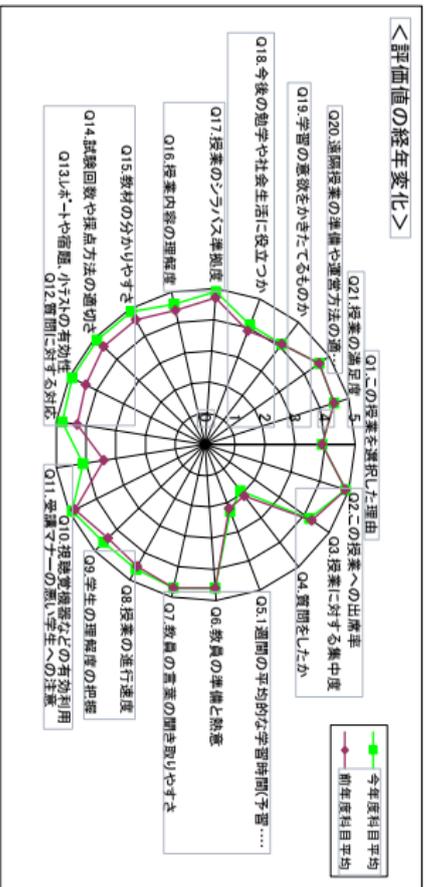
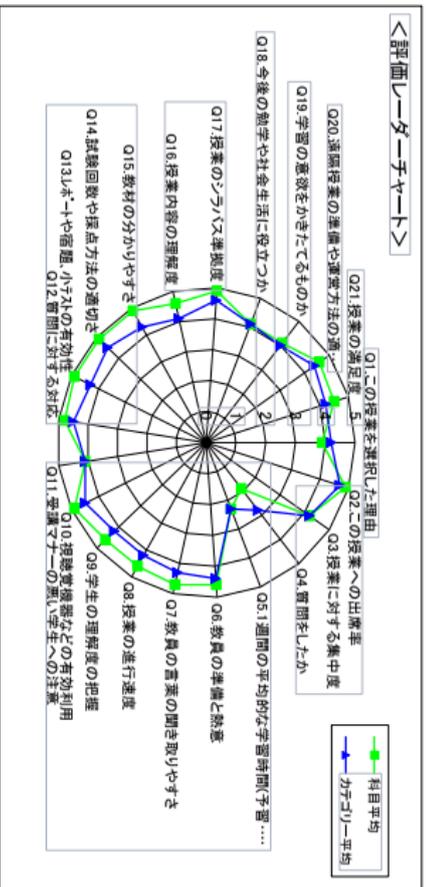
教員返却用集計フォーム③サンプル

2023年度後期 北海医科大学

教員名	〇〇〇〇〇〇	履修者数	40名
科目名	(△△△△△学)	回収数	14枚
カテゴリー	××××	回収率	35.0%

回答分布(人数と平均値・標準偏差)	質問内容					上段:平均値		下段:標準偏差	
	5	4	3	2	1	0-無回答	当科目	カテゴリー	
01.この授業を選択した理由	7	0	5	0	1	1	3.9	4.2	
02.この授業への出席率	50.0%	0.0%	35.7%	0.0%	7.1%	7.1%	1.27	1.14	
03.授業に対する集中度	12	2	0	0	0	0	4.9	4.7	
04.質問をしたか	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.71	
05.1週間の平均的な学習時間(学習・復習)	3	11	0	0	0	0	4.2	4.2	
06.教員の準備と熟意	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.41	0.82	
07.教員の言葉の聞き取りやすさ	0	1	3	4	6	0	1.9	2.8	
08.授業の進行速度	0.0%	7.1%	21.4%	28.6%	42.9%	0.0%	0.96	1.49	
09.学生の理解度の把握	7.1%	0.0%	35.7%	28.6%	28.6%	0.0%	2.3	2.3	
10.視覚覚醒機器などの有効利用	1	0	0	2	0	0	1.10	1.20	
11.受講データの悪い学生への注意	8	6	0	0	0	0	4.6	4.4	
12.質問に対する対応	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.50	0.81	
13.レポートや宿題、小テストの有効性	10	4	0	0	0	0	4.7	4.3	
14.試験回数や採点方法の適切さ	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.45	0.84	
15.教材の分かりやすさ	9	5	0	0	0	0	4.6	4.2	
16.授業内容の理解度	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.48	0.82	
17.授業のソラバス準拠度	10	3	1	0	0	0	4.6	4.2	
18.今後の勉学や社会生活に役立つか	71.4%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.61	0.89	
19.学習の意欲をかきたてるものか	12	2	0	0	0	0	4.9	4.5	
20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.73	
21.授業の満足度	12	2	0	0	0	0	4.1	4.1	

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を示す。



自由記述一覧

2023年度後期 北海商科大学

教員名：○○○○○

科目名：△△△学

Q22 この授業で特に良かった点は何ですか。

項番	内 容
1	韓国人の方と交流出来て良かったです。
2	ドラマの教材が普通の講義と違う雰囲気でも楽しかった。
3	しっかりテスト毎に課題があったりノートの提出があるので勉強できる。

Q23 この授業で特に改善してほしい点は何ですか。

項番	内 容
1	意見がありませんでした。

Q24 その他に意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反するものと見なして排除いたしますのでご留意下さいますようお願い申し上げます。)

項番	内 容
1	意見がありませんでした。

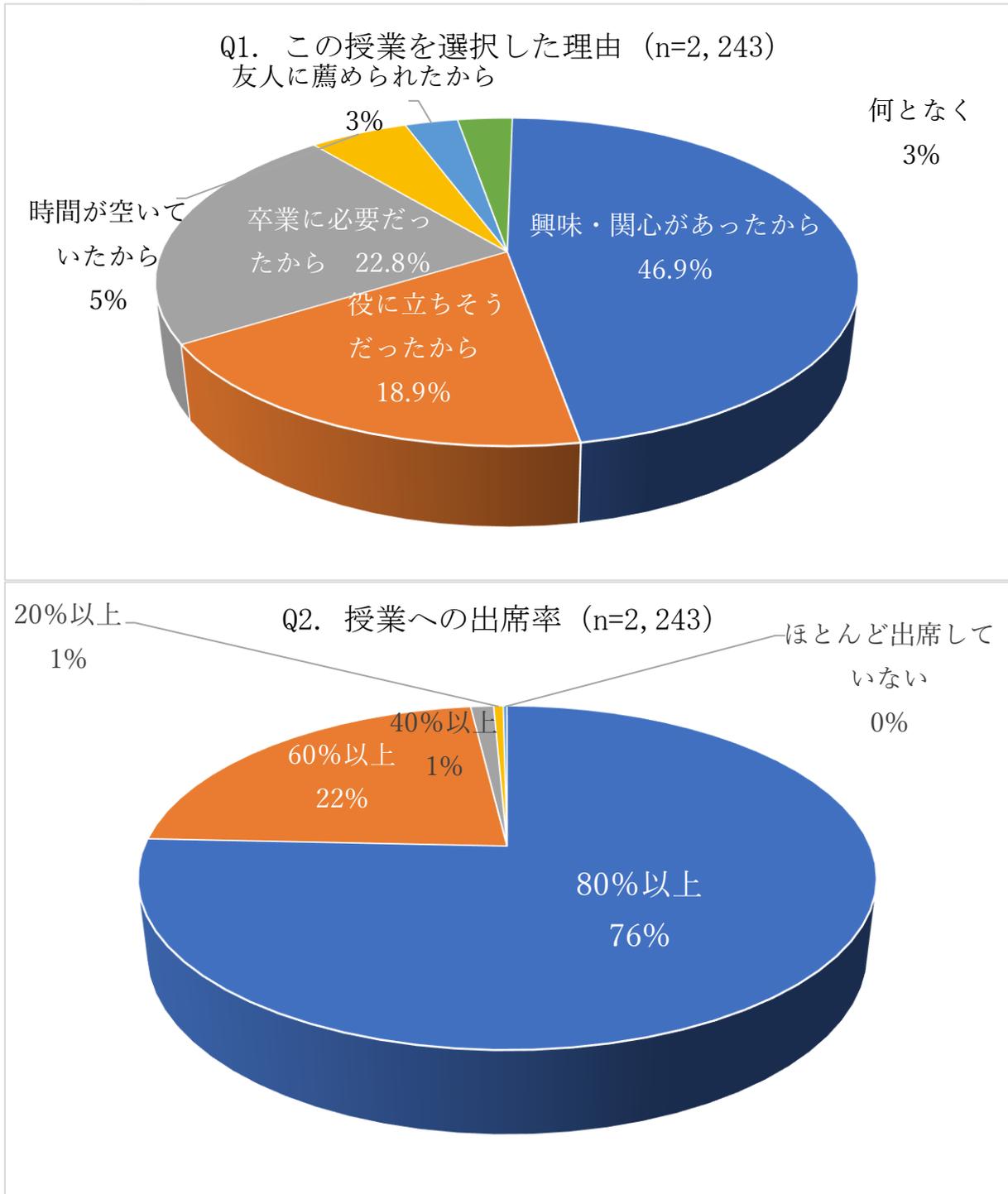


## II. 集計結果について

### 1. 全科目の単純集計結果について

ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

#### (1) 講義の選択動機と出席率について (Q1. Q2.)



## (2) 学生の受講姿勢 (Q3.～Q5.) と授業評価 (Q6.～Q21.) について

Q3.～Q5. までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q3. 授業に対する集中度」は対面授業に戻ったものの遠隔授業も含んでいたところと同じであった。全科目の平均値で「4.3」である。高い結果ではあることは評価されてよいが、対面とオンラインの差は教員が感じるほど学生は差を感じないということを示す結果でもあった。授業に対する積極性を問う「Q4. 質問をしたか」については、前期と同じく「3.0」でQ3.と比較すると低い値であり、積極性に問題点あり、前年度から引き続き低調です。また、一番の問題と思われるのは、学習に対する主体性を問う「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」において、「1時間未満」とした回答が45.3%と最も多く、「1時間以上2時間未満」が31.7%と続いており、77.0%が1週間で2時間も勉強していないこととなります。前期より昨年度よりも悪化しています。1年生の必修語学がなくなるなどの要因はあるものの各教員の工夫改善が求められます。

Q6.～Q21.の授業評価については以下の通りです。すべてが平均4.0を超えており、評価されてよいと思われれます。「Q11. (対面授業の場合) 受講マナーの悪い学生への注意」の平均値は「4.3」、また「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」の平均値は「4.2」ですが、教員対応に偏りが見られます。「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q12. 質問に対する対応」、この3項目は平均値「4.5」、さらに「Q17. 授業のシラバス準拠度」にいたっては平均値「4.6」と非常に高い結果となりました。それ以外の項目でも「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」の「4.2」以外は、「4.3」以上であり、全体としての傾向は悪くありません。最も平均値が低かったそのQ19.との関連で分析すると、低評価をつけた学生は「Q16. 授業内容の理解度」の平均が「3.2」でした。つまり、授業内容を理解できない結果、やる気をなくしていると思われれます。また、近年は入学時点で学力差がある多様な学生が在籍するようになってきていることと合わせて、学生の理解度をきちんと把握し授業を進めていく必要があると言えます。

最後に、Q22.～Q24.の自由記述欄への回答に関しては以下の通りです。「Q22. この授業で特に良かった点は何ですか」との問いに対しては、全体で437件の回答がありました。また、「Q23. この授業で特に改善して欲しい点は何ですか」の問いに関しては、回答が183件(特になしは除く)、「Q24. その他の意見・要望があればご記入下さい」については41件(特に無し)の回答が寄せられました。Q24は「ありがとうございました」「毎週楽しみでした」等の内容を除くと、さらに少なくなります。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリ別のアンケート結果欄において個別にコメントされます。

以上、アンケートに対する回答率が前年度より改善されたとはいえ、まだ50.4%に過ぎず、より多くの学生の声をふまえていく必要があります。

なお、既述の通りこれら自由回答欄の内容は「集計フォーム④」として整理され、「集計フォーム③」とともに各科目の担当教員に返却されており、今後の授業改善に向けた参考資料として活用されます。

その後、2023年度後期授業アンケート結果に対する検討事項調査(教員アンケート)を実施し、その結果は、教員間や学生も含めて情報共有し、教員のFD向上さらには学生の勉学の向上のための基礎資料として利活用しています。

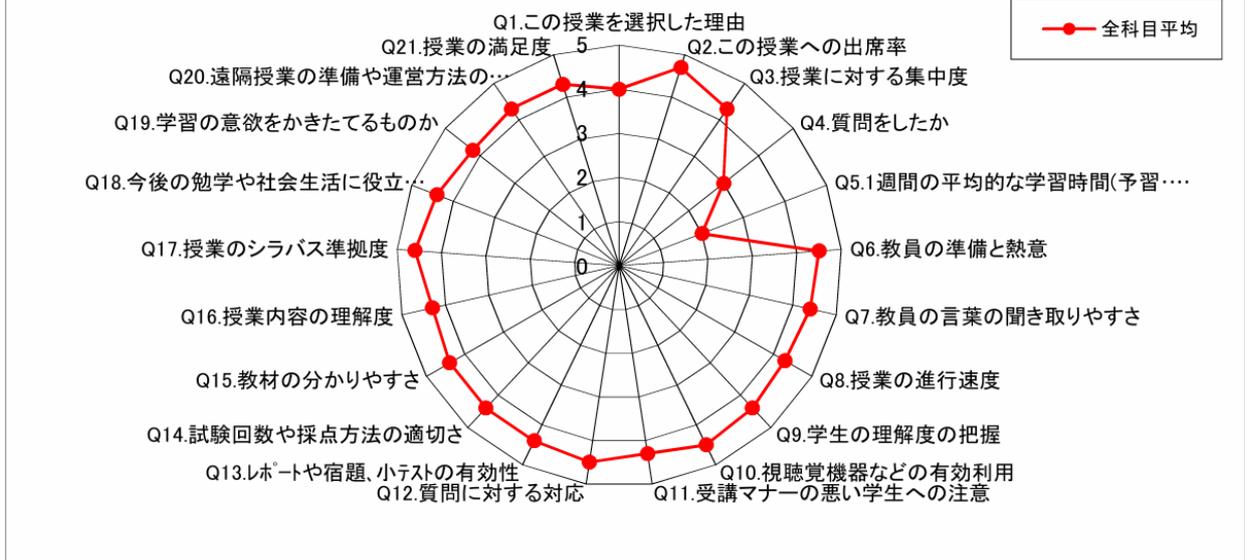
項目別回答分布(人数と平均値・標準偏差)

上段:平均値  
下段:標準偏差

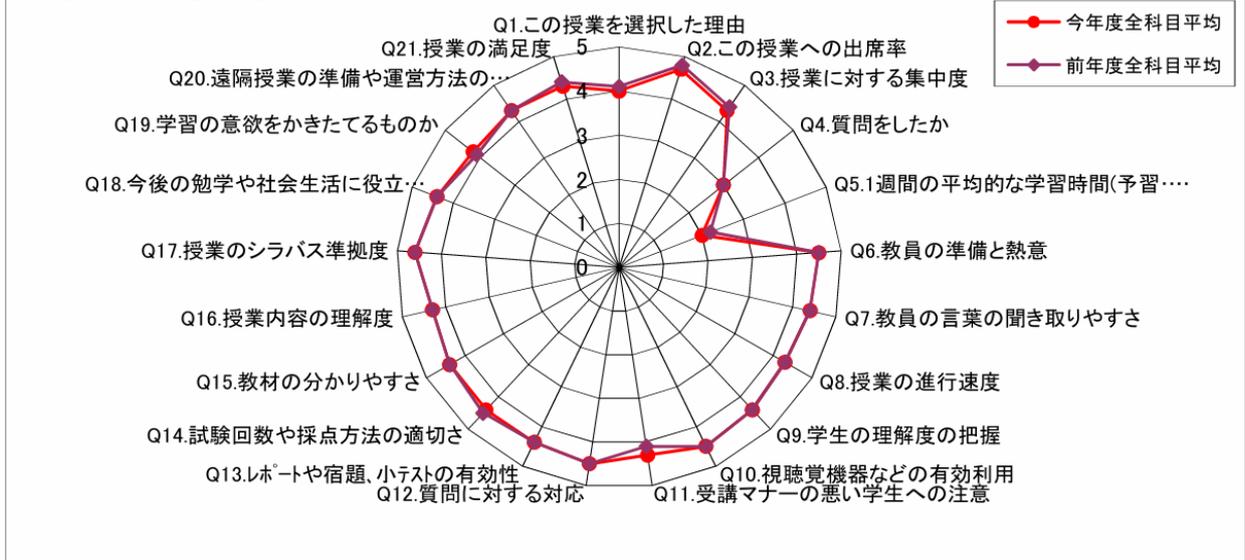
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	全科目
Q1. この授業を選択した理由	1052 46.9%	424 18.9%	512 22.8%	121 5.4%	66 2.9%	68 3.0%	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	1698 75.7%	502 22.4%	26 1.2%	12 0.5%	5 0.2%	0 0.0%	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	1041 46.4%	938 41.8%	186 8.3%	41 1.8%	16 0.7%	21 0.9%	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	412 18.4%	395 17.6%	616 27.5%	278 12.4%	454 20.2%	88 3.9%	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	161 7.2%	100 4.5%	257 11.5%	710 31.7%	1015 45.3%	0 0.0%	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	1434 63.9%	564 25.1%	156 7.0%	38 1.7%	26 1.2%	25 1.1%	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	1358 60.5%	577 25.7%	175 7.8%	67 3.0%	45 2.0%	21 0.9%	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	1216 54.2%	558 24.9%	328 14.6%	75 3.3%	32 1.4%	34 1.5%	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	1240 55.3%	618 27.6%	252 11.2%	47 2.1%	35 1.6%	51 2.3%	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	1419 63.3%	550 24.5%	168 7.5%	30 1.3%	19 0.8%	57 2.5%	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	1177 52.5%	422 18.8%	354 15.8%	48 2.1%	38 1.7%	204 9.1%	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	1371 61.1%	466 20.8%	221 9.9%	26 1.2%	22 1.0%	137 6.1%	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	1221 54.4%	663 29.6%	205 9.1%	62 2.8%	26 1.2%	66 2.9%	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	1347 60.1%	535 23.9%	193 8.6%	60 2.7%	31 1.4%	77 3.4%	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	1276 56.9%	608 27.1%	199 8.9%	71 3.2%	47 2.1%	42 1.9%	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	1108 49.4%	769 34.3%	214 9.5%	90 4.0%	35 1.6%	27 1.2%	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	1484 66.2%	511 22.8%	115 5.1%	14 0.6%	25 1.1%	94 4.2%	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	1234 55.0%	669 29.8%	205 9.1%	62 2.8%	30 1.3%	43 1.9%	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	1046 46.6%	726 32.4%	276 12.3%	88 3.9%	60 2.7%	47 2.1%	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	1034 46.1%	389 17.3%	361 16.1%	23 1.0%	19 0.8%	417 18.6%	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	1199 53.5%	703 31.3%	216 9.6%	64 2.9%	34 1.5%	27 1.2%	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。

<異文化交流科目：語学>

異文化交流科目のうち、「社会と文化」についての科目の中で、語学が対象です。「全科目平均」と比較したレーダーチャートではほぼ平均と一致しており、「Q4. 質問をしたか」については大幅に上回っています。語学が1年時必修から外れるのが後期であり、興味関心がある学生が受講したという要因もあるものの多くの項目でとても高い評価を得ています。下記の「自由記述」に関する記述からは、教員側が視聴覚教材や課題チェックなどを充実させた教員の熱意によるところが大きいと考えられます。

「自由記述」には「韓国ドラマを用いての勉強は聞き取りの勉強にもなる」「テスト毎に課題がありノート提出があるので勉強になる」「先生の熱意が素晴らしい」等の満足度の高さがうかがえる記述が多数見られました。

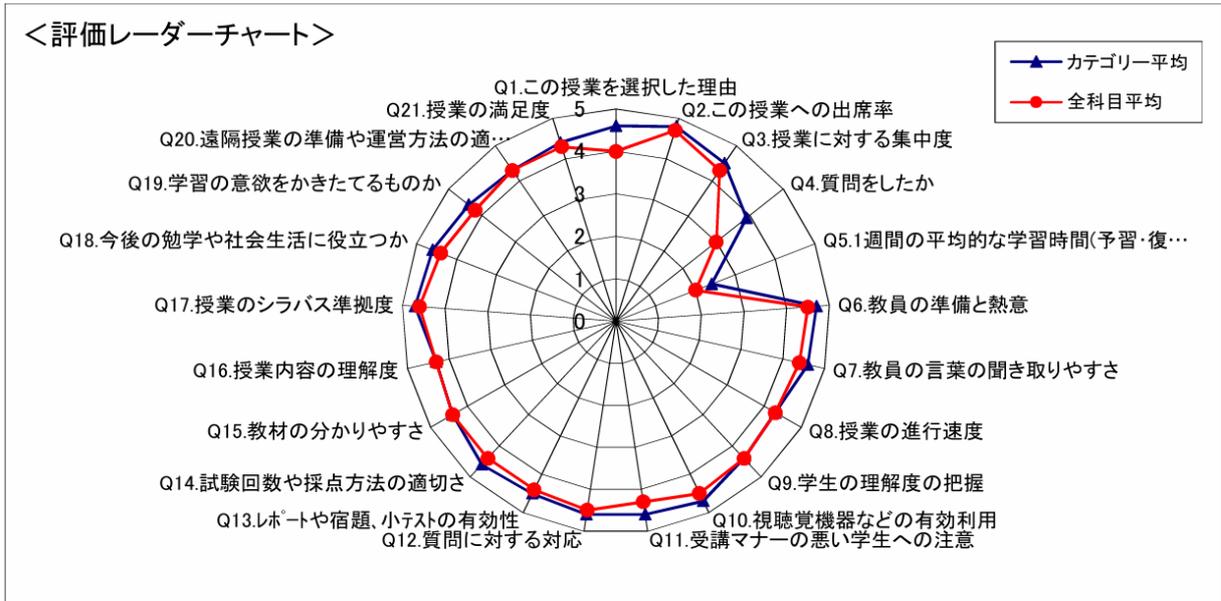
回答分布(人数と平均値・標準偏差)

上段:平均値  
下段:標準偏差

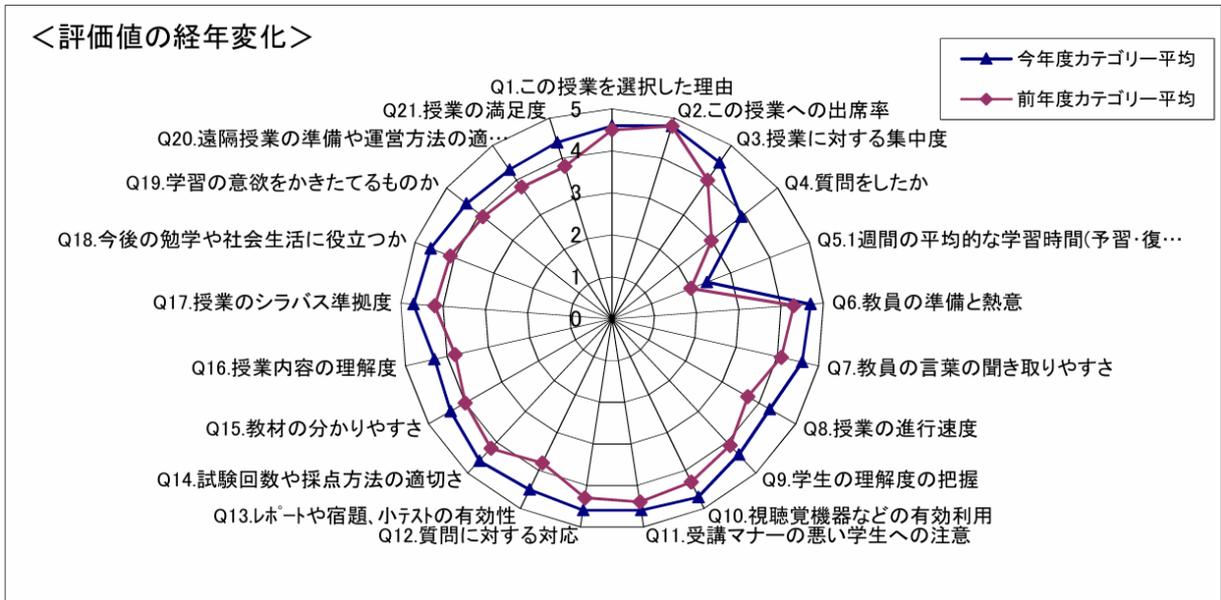
質問内容	5	4	3	2	1	0-無回答	カテゴリ	全科目
Q1. この授業を選択した理由	53 67.9%	17 21.8%	5 6.4%	0 0.0%	1 1.3%	2 2.6%	4.6 0.73	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	60 76.9%	17 21.8%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.46	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	42 53.8%	35 44.9%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.57	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	23 29.5%	34 43.6%	13 16.7%	6 7.7%	2 2.6%	0 0.0%	3.9 0.99	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	6 7.7%	7 9.0%	15 19.2%	34 43.6%	16 20.5%	0 0.0%	2.4 1.14	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	61 78.2%	14 17.9%	2 2.6%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.57	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	54 69.2%	19 24.4%	4 5.1%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.65	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	40 51.3%	24 30.8%	10 12.8%	3 3.8%	1 1.3%	0 0.0%	4.3 0.92	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	46 59.0%	19 24.4%	9 11.5%	3 3.8%	1 1.3%	0 0.0%	4.4 0.92	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	59 75.6%	16 20.5%	3 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.53	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	55 70.5%	14 17.9%	7 9.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	4.6 0.65	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	53 67.9%	20 25.6%	4 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	4.6 0.58	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	42 53.8%	32 41.0%	3 3.8%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.64	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	48 61.5%	25 32.1%	5 6.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.61	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	44 56.4%	27 34.6%	5 6.4%	1 1.3%	1 1.3%	0 0.0%	4.4 0.78	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	37 47.4%	34 43.6%	4 5.1%	2 2.6%	1 1.3%	0 0.0%	4.3 0.80	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	54 69.2%	21 26.9%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	4.7 0.49	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	54 69.2%	21 26.9%	2 2.6%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.60	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	38 48.7%	31 39.7%	6 7.7%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	4.4 0.79	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	27 34.6%	15 19.2%	12 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	24 30.8%	4.3 0.80	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	38 48.7%	34 43.6%	5 6.4%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	4.4 0.72	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<異文化交流科目：社会と文化（異文化ゼミナール）>

異文化交流科目のうち異文化ゼミナールに対する「授業評価」の傾向は、全項目においてほぼ平均値と差がありません。「Q4. 質問をしたか」の項目についても、若干質問の回数が多いだけであることは、ゼミナールであることを考慮すると物足りない結果といえます。前年度と比較するとほぼ全項目において大幅に上回る好結果になっている点は評価できます。昨年の反省を踏まえた授業が実施されたことがうかがえますが、アンケートに答えた学生数が少なかったのは残念です。まずは受講者が増え、少人数のゼミナール形式に慣れてもらうことが専門ゼミナールへの移行をスムーズにすると思われるので、次は学生募集時に多くの学生が興味を引くような講義展開が望まれます。

「自由記述」においては、留学生との交流やプレゼンテーション、レジュメ作りなど能動的な活動に関する満足度の高さがうかがえました。とくに「韓国料理作り」「留学生との交流」についての「楽しかった」「うれしかった」という声が非常に多く見られました。

回答分布(人数と平均値・標準偏差)

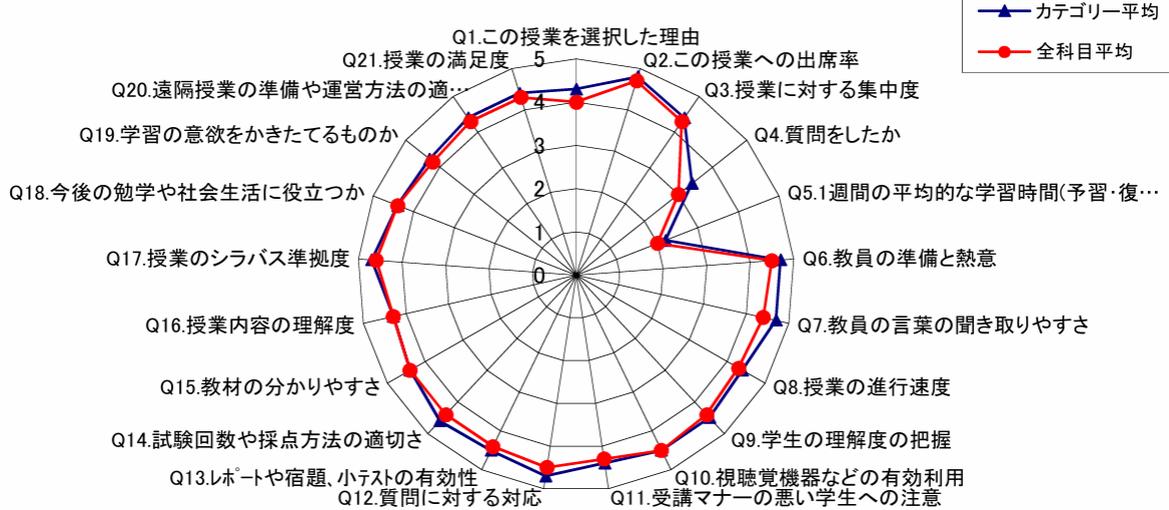
上段:平均値

下段:標準偏差

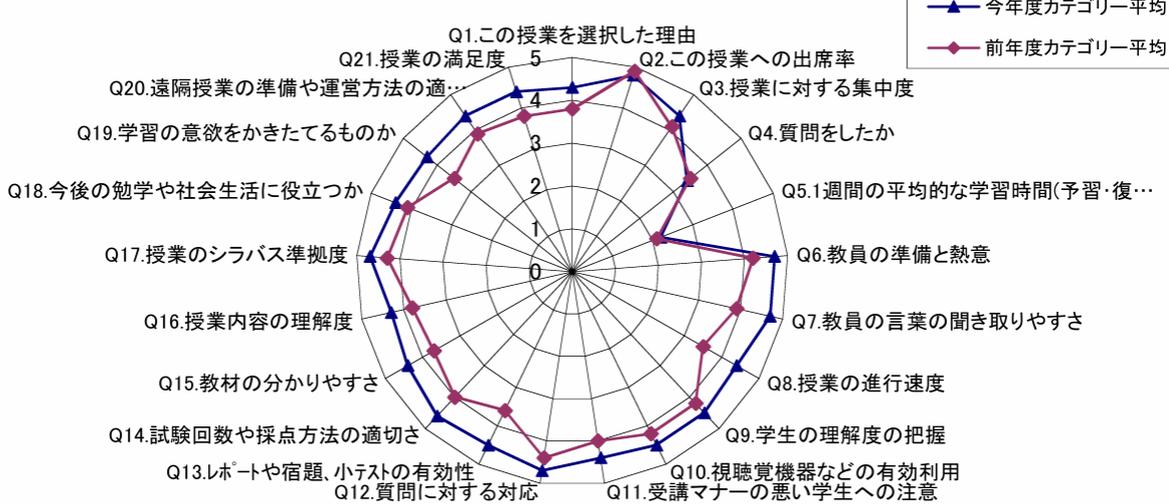
質問内容	5	4	3	2	1	0-無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	51 57.3%	15 16.9%	10 11.2%	3 3.4%	3 3.4%	7 7.9%	4.3 1.06	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	73 82.0%	14 15.7%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.51	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	42 47.2%	41 46.1%	5 5.6%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.65	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	19 21.3%	22 24.7%	26 29.2%	14 15.7%	7 7.9%	1 1.1%	3.4 1.21	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	9 10.1%	3 3.4%	16 18.0%	27 30.3%	34 38.2%	0 0.0%	2.2 1.26	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	71 79.8%	13 14.6%	2 2.2%	2 2.2%	1 1.1%	0 0.0%	4.7 0.73	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	68 76.4%	17 19.1%	4 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.54	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	53 59.6%	22 24.7%	12 13.5%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	4.4 0.77	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	58 65.2%	22 24.7%	8 9.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	4.5 0.75	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	57 64.0%	21 23.6%	6 6.7%	2 2.2%	0 0.0%	3 3.4%	4.5 0.73	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	53 59.6%	15 16.9%	13 14.6%	1 1.1%	1 1.1%	6 6.7%	4.4 0.88	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	71 79.8%	12 13.5%	6 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.58	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	55 61.8%	26 29.2%	5 5.6%	2 2.2%	0 0.0%	1 1.1%	4.5 0.71	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	63 70.8%	13 14.6%	8 9.0%	1 1.1%	0 0.0%	4 4.5%	4.6 0.70	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	53 59.6%	22 24.7%	8 9.0%	3 3.4%	2 2.2%	1 1.1%	4.4 0.95	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	47 52.8%	30 33.7%	9 10.1%	1 1.1%	2 2.2%	0 0.0%	4.3 0.87	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	67 75.3%	12 13.5%	6 6.7%	1 1.1%	0 0.0%	3 3.4%	4.7 0.65	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	50 56.2%	27 30.3%	10 11.2%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	4.4 0.82	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	50 56.2%	25 28.1%	10 11.2%	2 2.2%	2 2.2%	0 0.0%	4.3 0.92	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	40 44.9%	12 13.5%	12 13.5%	0 0.0%	1 1.1%	24 27.0%	4.4 0.89	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	54 60.7%	24 27.0%	8 9.0%	3 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.79	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

### <評価レーダーチャート>



### <評価値の経年変化>



### <異文化交流科目：社会と文化（異文化ゼミナール以外）>

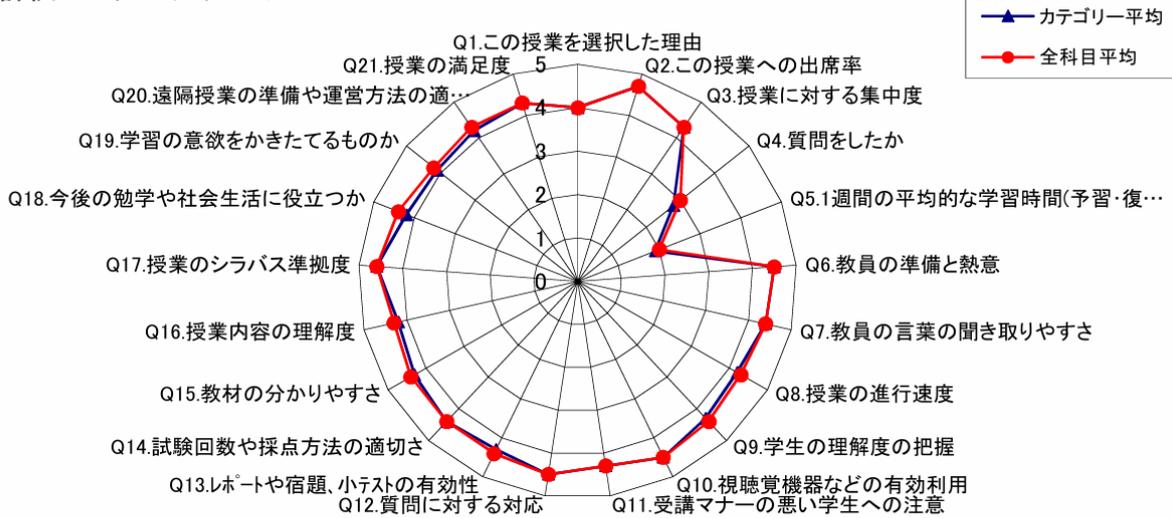
異文化交流科目のうち、「異文化ゼミナール」以外の「社会と文化」についての科目であり、講義形式の授業です。全科目平均と比較した場合、多くの項目で同様の結果でした。経年変化では前年度よりQ11やQ18が高くなっていましたが、標準偏差から考えると、講義間の差異、または個人差の範囲の値であり、昨年度と差異があるとは言えない結果でした。やはり他の科目同様に、Q4とQ5の値が低いものとなっているため、ICTを活かした予習復習方法の構築、質問を受け付ける工夫などの改善が求められるでしょう。

自由記述については、特にQ21において「わかりやすい」など好意的な評価が多く見られました。質問への対応、資料の提示、補足説明などを含め、受講者の学習成果を高めるための各教員の取り組みは受講者に伝わっているものと思われます。一方で、Q22については板書の見やすさやプリントの形態、声の聞き取りづらさについての指摘などがありました。個人的な主張の範囲の記述も見られましたが、改善できるところは指摘を受け入れて欲しいと思います。また、ピ逃げと呼ばれる出席不正への対応、授業中のスマホやイヤホンの使用への対応についての指摘もありました。指摘されている事柄の放置は、その当事者にとって悪い結果につながるだけでなく、真面目に授業を受けている学生の不満、やる気を奪うことにもつながります。それらを放置するのではなく、指導するようにしてください。

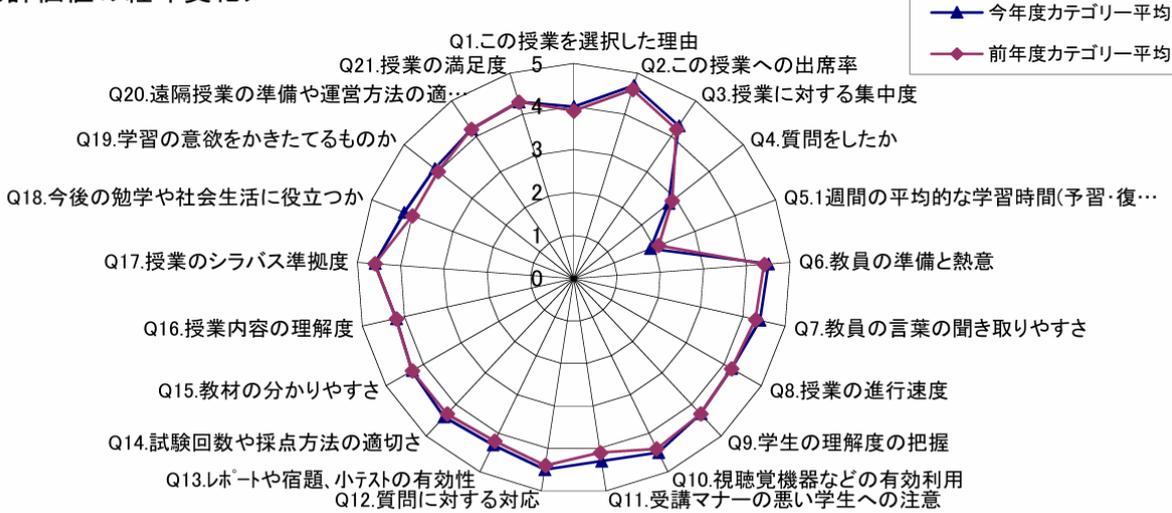
質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段:平均値		下段:標準偏差	
	5	4	3	2	1	0-無回答	カテゴリー	全科目		
Q1. この授業を選択した理由	266 47.2%	107 19.0%	85 15.1%	44 7.8%	36 6.4%	25 4.4%	4.0	4.0	1.26	1.10
Q2. この授業への出席率	408 72.5%	139 24.7%	9 1.6%	5 0.9%	2 0.4%	0 0.0%	4.7	4.7	0.59	0.53
Q3. 授業に対する集中度	226 40.1%	262 46.5%	51 9.1%	13 2.3%	3 0.5%	8 1.4%	4.3	4.3	0.76	0.76
Q4. 質問をしたか	89 15.8%	87 15.5%	161 28.6%	69 12.3%	139 24.7%	18 3.2%	2.8	3.0	1.39	1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	36 6.4%	25 4.4%	65 11.5%	172 30.6%	265 47.1%	0 0.0%	1.9	2.0	1.16	1.18
Q6. 教員の準備と熱意	341 60.6%	157 27.9%	37 6.6%	14 2.5%	5 0.9%	9 1.6%	4.5	4.5	0.80	0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	325 57.7%	152 27.0%	44 7.8%	26 4.6%	11 2.0%	5 0.9%	4.4	4.4	0.95	0.91
Q8. 授業の進行速度	284 50.4%	130 23.1%	109 19.4%	23 4.1%	10 1.8%	7 1.2%	4.2	4.3	1.00	0.94
Q9. 学生の理解度の把握	292 51.9%	167 29.7%	68 12.1%	16 2.8%	12 2.1%	8 1.4%	4.3	4.4	0.94	0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	342 60.7%	146 25.9%	47 8.3%	9 1.6%	4 0.7%	15 2.7%	4.5	4.5	0.78	0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	305 54.2%	122 21.7%	75 13.3%	15 2.7%	16 2.8%	30 5.3%	4.3	4.3	1.01	0.96
Q12. 質問に対する対応	338 60.0%	117 20.8%	64 11.4%	5 0.9%	7 1.2%	32 5.7%	4.5	4.5	0.84	0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	282 50.1%	177 31.4%	62 11.0%	20 3.6%	7 1.2%	15 2.7%	4.3	4.4	0.90	0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	325 57.7%	139 24.7%	58 10.3%	18 3.2%	6 1.1%	17 3.0%	4.4	4.4	0.88	0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	300 53.3%	156 27.7%	64 11.4%	20 3.6%	15 2.7%	8 1.4%	4.3	4.4	0.98	0.93
Q16. 授業内容の理解度	247 43.9%	202 35.9%	69 12.3%	32 5.7%	6 1.1%	7 1.2%	4.2	4.3	0.93	0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	378 67.1%	124 22.0%	26 4.6%	7 1.2%	6 1.1%	22 3.9%	4.6	4.6	0.74	0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	250 44.4%	189 33.6%	75 13.3%	23 4.1%	11 2.0%	15 2.7%	4.2	4.4	0.95	0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	249 44.2%	170 30.2%	93 16.5%	30 5.3%	11 2.0%	10 1.8%	4.1	4.2	1.00	0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	241 42.8%	111 19.7%	94 16.7%	6 1.1%	7 1.2%	104 18.5%	4.2	4.3	0.93	0.90
Q21. 授業の満足度	270 48.0%	193 34.3%	70 12.4%	18 3.2%	7 1.2%	5 0.9%	4.3	4.3	0.89	0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

### <評価レーダーチャート>



### <評価値の経年変化>



### <専門基礎科目>

専門基礎科目は全科目(経済システム理論Ⅱ、経済と社会のしくみⅡ、コンピューター・リテラシーⅡ)が必修科目となっています。<評価レーダーチャート>を見ると、専門基礎科目では全科目平均の評価を下回る項目が多くなっています。必修科目ゆえ学生自身の興味関心にかかわらず受講が必要となっており、結果として学習意欲の喚起や授業の満足度の項目の評価が低くなったものと思われます。<評価値の経年変化>を見ると、専門基礎科目の評価は昨年を下回る項目が多くなります。

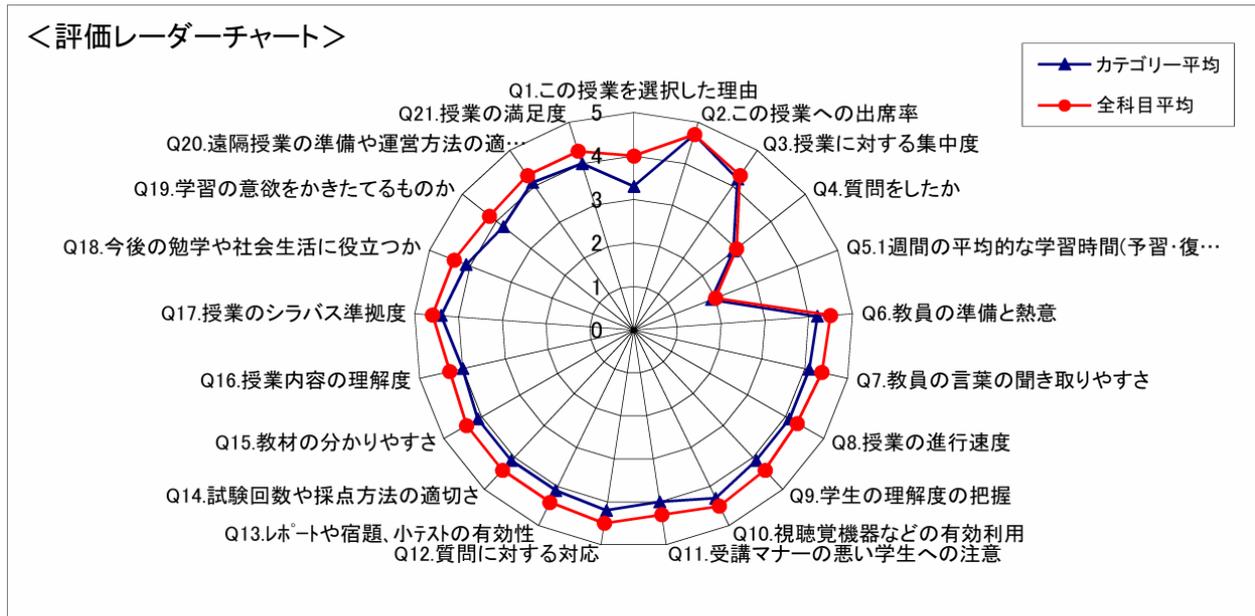
自由記述欄を見ると、良かった点として、講義内容や解説のわかりやすさ、配布資料や補助教材(動画)などの工夫、グループワーク導入、熱心な説明・指導などがあげられていました。学生の理解を増進する工夫を引き続き取り入れていくことが、学生の理解度・満足度を高めるために有効と考えられます。今後、改善してほしい点として、同じ科目の下での担当教員間での出席確認や試験方法の相違が指摘されています。昨年度も同様の指摘がありました。同じ科目を担当する教員間で、講義の到達目標などを改めて確認・共有する必要があると考えられます。また、成績評価や通常の連絡等におけるコミュニケーションについての意見も見られました。行き違いのないよう丁寧なコミュニケーションを心掛ける必要があります。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値  
下段:標準偏差

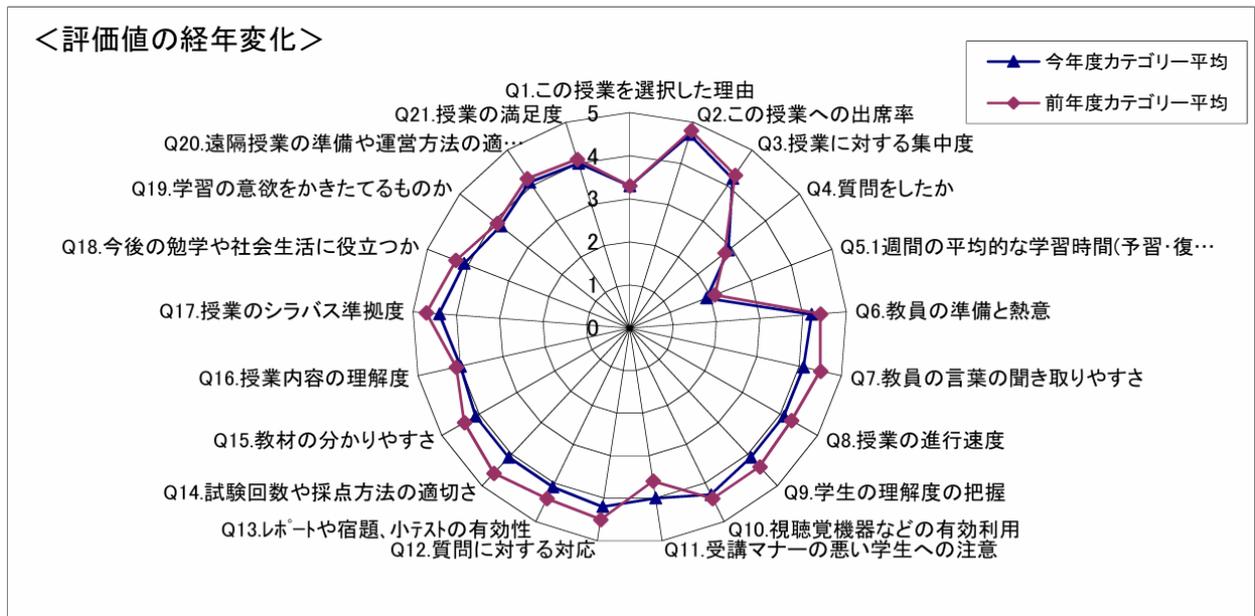
質問内容	5	4	3	2	1	0-無回答	カテゴリ	全科目
Q1. この授業を選択した理由	50 14.4%	14 4.0%	277 79.8%	2 0.6%	0 0.0%	4 1.2%	3.3 0.72	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	255 73.5%	80 23.1%	6 1.7%	5 1.4%	1 0.3%	0 0.0%	4.7 0.61	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	137 39.5%	145 41.8%	42 12.1%	11 3.2%	7 2.0%	5 1.4%	4.2 0.90	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	71 20.5%	54 15.6%	73 21.0%	56 16.1%	84 24.2%	9 2.6%	2.9 1.47	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	19 5.5%	19 5.5%	45 13.0%	100 28.8%	164 47.3%	0 0.0%	1.9 1.14	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	159 45.8%	119 34.3%	47 13.5%	8 2.3%	11 3.2%	3 0.9%	4.2 0.97	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	158 45.5%	104 30.0%	46 13.3%	18 5.2%	16 4.6%	5 1.4%	4.1 1.11	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	147 42.4%	96 27.7%	74 21.3%	14 4.0%	9 2.6%	7 2.0%	4.1 1.03	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	145 41.8%	112 32.3%	52 15.0%	15 4.3%	14 4.0%	9 2.6%	4.1 1.06	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	179 51.6%	108 31.1%	35 10.1%	7 2.0%	11 3.2%	7 2.0%	4.3 0.96	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	135 38.9%	67 19.3%	72 20.7%	17 4.9%	9 2.6%	47 13.5%	4.0 1.09	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	168 48.4%	84 24.2%	45 13.0%	10 2.9%	11 3.2%	29 8.4%	4.2 1.03	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	149 42.9%	108 31.1%	47 13.5%	16 4.6%	13 3.7%	14 4.0%	4.1 1.06	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	168 48.4%	90 25.9%	42 12.1%	20 5.8%	17 4.9%	10 2.9%	4.1 1.14	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	150 43.2%	115 33.1%	42 12.1%	15 4.3%	18 5.2%	7 2.0%	4.1 1.10	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	147 42.4%	109 31.4%	44 12.7%	25 7.2%	15 4.3%	7 2.0%	4.0 1.12	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	190 54.8%	100 28.8%	21 6.1%	2 0.6%	10 2.9%	24 6.9%	4.4 0.88	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	163 47.0%	100 28.8%	46 13.3%	15 4.3%	13 3.7%	10 2.9%	4.1 1.06	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	115 33.1%	108 31.1%	68 19.6%	21 6.1%	27 7.8%	8 2.3%	3.8 1.21	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	136 39.2%	68 19.6%	68 19.6%	10 2.9%	8 2.3%	57 16.4%	4.1 1.04	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	142 40.9%	117 33.7%	49 14.1%	16 4.6%	18 5.2%	5 1.4%	4.0 1.10	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

### <評価レーダーチャート>



### <評価値の経年変化>



### <専門関連科目>

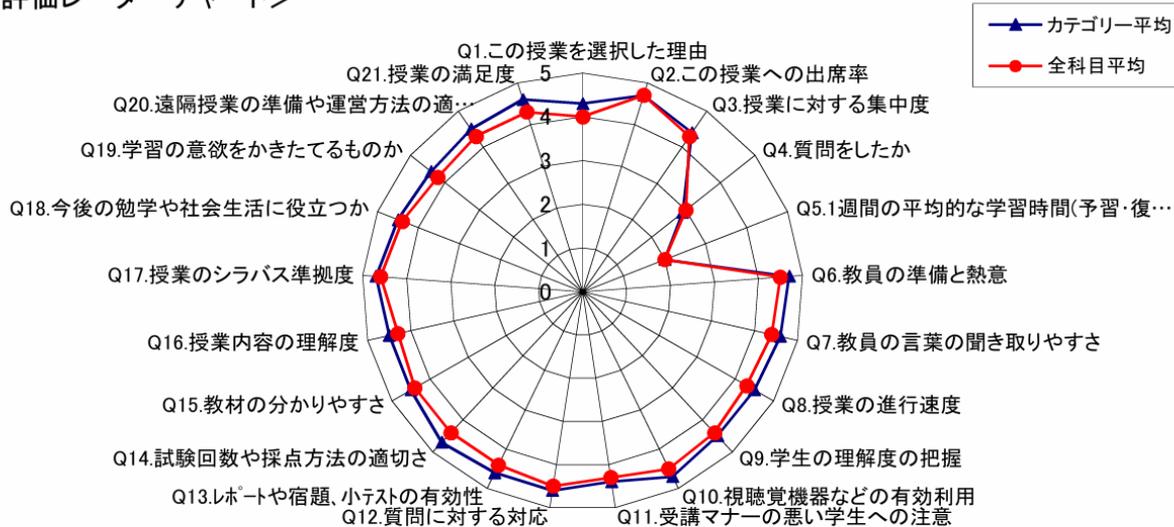
専門関連科目は、商学科・観光産業学科の専門科目に関連した科目となっており、幅広い内容の科目が含まれています。<評価レーダーチャート>を見ると、専門関連科目の評価は、全科目平均を上回る項目が多くみられます。<評価値の経年変化>を見ると、受講マナーの悪い学生への注意、質問に対する対応の項目で、昨年度の評価を上回っています。教員の講義方法改善などが影響したものと考えられます。

自由記述欄を見ると、良かった点として、丁寧な説明や解説、グループディスカッションなどのアクティブラーニング導入などがあげられていました。少人数教育の特性を生かした取り組みが高く評価されているようです。また、関連する時事問題の解説を取り入れることなどにより、講義内容を学生の「自分ごと」とすることで学生の満足度が高まっている様子も見受けられました。一方で、今後、改善してほしい点として挙げられた点は、私語への注意の徹底、講義時間の遵守、聞こえやすい話し方など多岐にわたりました。教員は各講義の授業アンケート結果に基づいた対応が必要と考えられます。

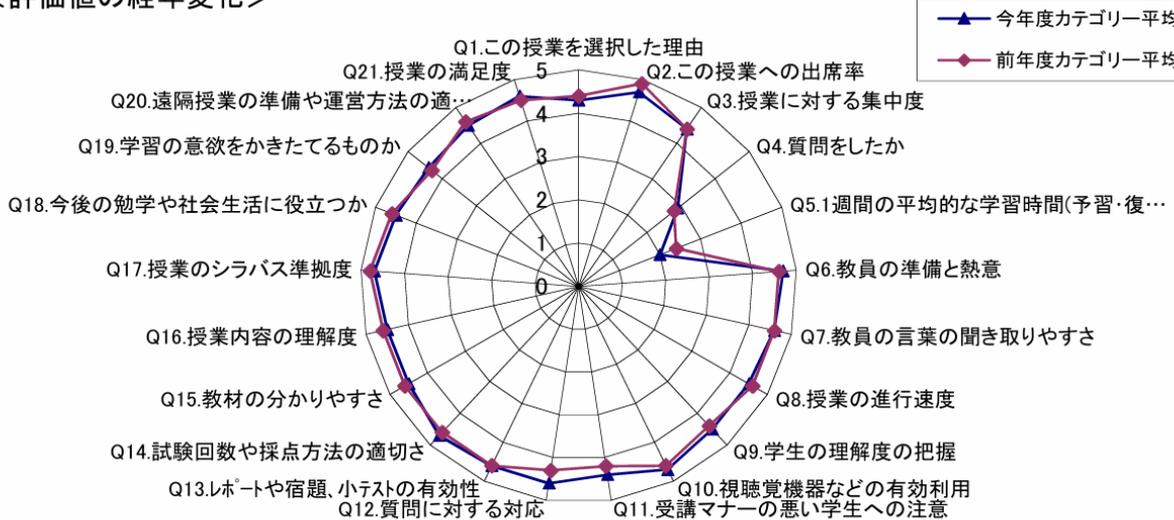
質問内容	上段:平均値						下段:標準偏差	
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
Q1. この授業を選択した理由	256 60.0%	71 16.6%	43 10.1%	36 8.4%	10 2.3%	11 2.6%	4.3 1.10	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	311 72.8%	114 26.7%	2 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.46	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	223 52.2%	174 40.7%	22 5.2%	4 0.9%	2 0.5%	2 0.5%	4.4 0.68	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	70 16.4%	59 13.8%	115 26.9%	55 12.9%	101 23.7%	27 6.3%	2.9 1.41	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	44 10.3%	14 3.3%	43 10.1%	138 32.3%	188 44.0%	0 0.0%	2.0 1.26	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	318 74.5%	75 17.6%	25 5.9%	3 0.7%	1 0.2%	5 1.2%	4.7 0.64	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	308 72.1%	85 19.9%	20 4.7%	5 1.2%	6 1.4%	3 0.7%	4.6 0.76	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	270 63.2%	96 22.5%	41 9.6%	14 3.3%	1 0.2%	5 1.2%	4.5 0.82	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	276 64.6%	102 23.9%	31 7.3%	6 1.4%	2 0.5%	10 2.3%	4.5 0.74	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	314 73.5%	76 17.8%	21 4.9%	5 1.2%	0 0.0%	11 2.6%	4.7 0.63	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	252 59.0%	82 19.2%	52 12.2%	6 1.4%	4 0.9%	31 7.3%	4.4 0.85	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	277 64.9%	88 20.6%	32 7.5%	5 1.2%	0 0.0%	25 5.9%	4.6 0.69	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	274 64.2%	114 26.7%	23 5.4%	7 1.6%	1 0.2%	8 1.9%	4.6 0.70	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	306 71.7%	83 19.4%	20 4.7%	7 1.6%	0 0.0%	11 2.6%	4.7 0.65	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	283 66.3%	94 22.0%	26 6.1%	12 2.8%	5 1.2%	7 1.6%	4.5 0.83	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	252 59.0%	133 31.1%	28 6.6%	9 2.1%	3 0.7%	2 0.5%	4.5 0.77	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	303 71.0%	95 22.2%	17 4.0%	1 0.2%	0 0.0%	11 2.6%	4.7 0.56	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	265 62.1%	122 28.6%	24 5.6%	11 2.6%	0 0.0%	5 1.2%	4.5 0.72	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	229 53.6%	142 33.3%	30 7.0%	10 2.3%	6 1.4%	10 2.3%	4.4 0.84	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	243 56.9%	63 14.8%	57 13.3%	5 1.2%	1 0.2%	58 13.6%	4.5 0.82	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	276 64.6%	118 27.6%	19 4.4%	9 2.1%	1 0.2%	4 0.9%	4.6 0.70	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

### <評価レーダーチャート>



### <評価値の経年変化>



### <商学科専門科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、全科目平均よりも若干上回る傾向が見取れますが、「Q2. この授業への出席率」、「Q4. 質問をしたか」、「Q5. 1週間の平均的な学習時間」、などが、全科目平均よりもカテゴリー平均が低いという結果 になりました。評価値の経年変化より、昨年度カテゴリー平均より今年度カテゴリー平均が上 回っている項目は、「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」などでした。逆に、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q21. 授業の満足度」などは下回っています。自由記述欄において、「良かった点」は、52 件ありました。また、「改善して欲しい点」は、27 件あり、「黒板の字のみづらさ」や「授業時間の不適切さ」などに関する回答が目立ちました。

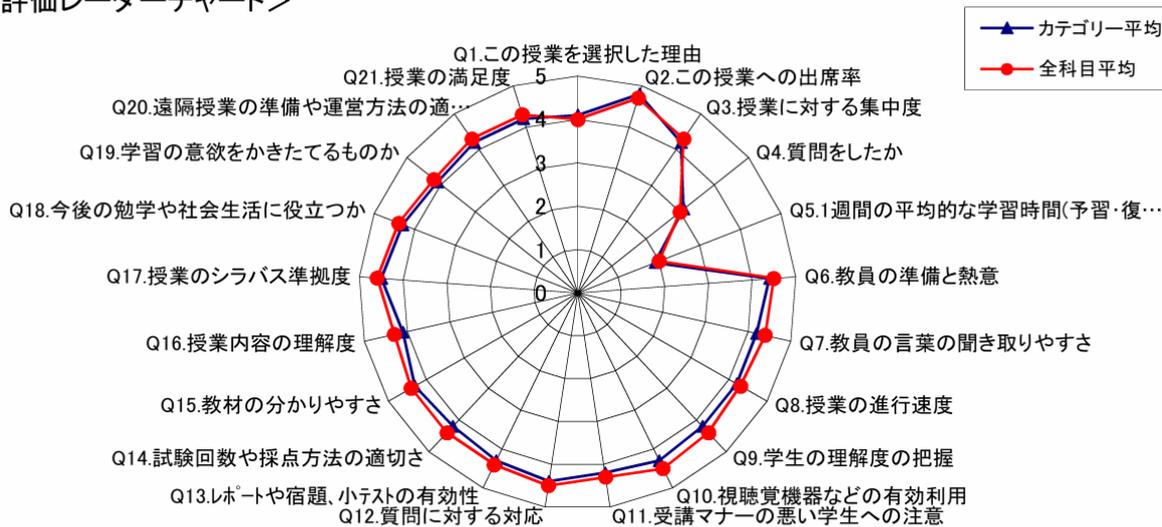
上段：平均値  
下段：標準偏差

回答分布(人数と平均値・標準偏差)

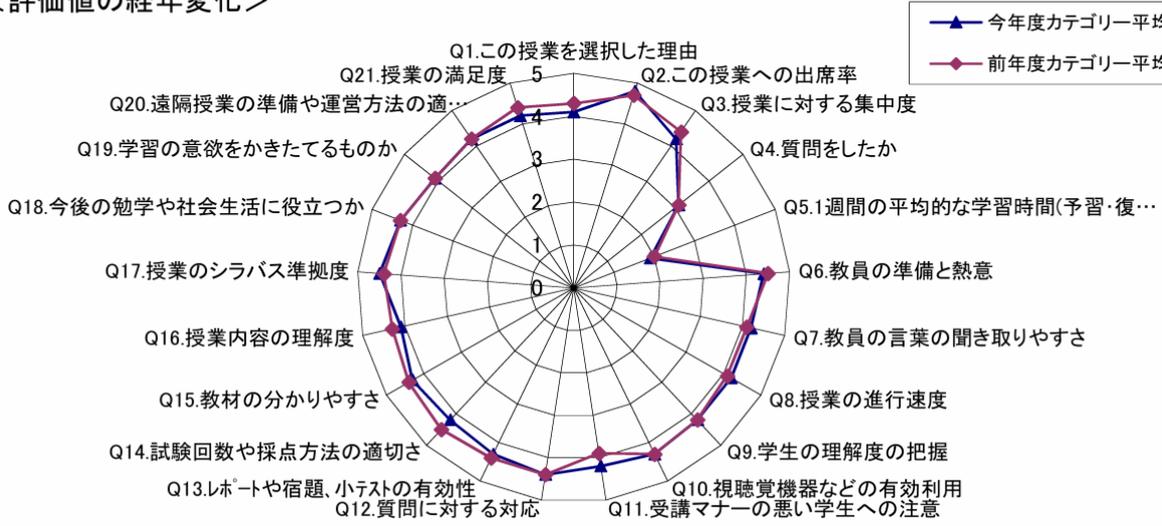
質問内容	5	4	3	2	1	0-無回答	平均値	標準偏差
Q1. この授業を選択した理由	144 45.4%	83 26.2%	46 14.5%	21 6.6%	12 3.8%	11 3.5%	4.1 1.12	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	256 80.8%	58 18.3%	1 0.3%	0 0.0%	2 0.6%	0 0.0%	4.8 0.50	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	136 42.9%	125 39.4%	39 12.3%	9 2.8%	4 1.3%	4 1.3%	4.2 0.86	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	51 16.1%	60 18.9%	106 33.4%	30 9.5%	54 17.0%	16 5.0%	3.1 1.30	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	19 6.0%	12 3.8%	38 12.0%	97 30.6%	151 47.6%	0 0.0%	1.9 1.13	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	182 57.4%	91 28.7%	27 8.5%	6 1.9%	6 1.9%	5 1.6%	4.4 0.87	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	156 49.2%	98 30.9%	34 10.7%	14 4.4%	11 3.5%	4 1.3%	4.2 1.03	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	153 48.3%	82 25.9%	52 16.4%	13 4.1%	7 2.2%	10 3.2%	4.2 1.01	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	147 46.4%	92 29.0%	54 17.0%	5 1.6%	5 1.6%	14 4.4%	4.2 0.91	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	159 50.2%	99 31.2%	39 12.3%	6 1.9%	3 0.9%	11 3.5%	4.3 0.84	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	158 49.8%	57 18.0%	60 18.9%	6 1.9%	6 1.9%	30 9.5%	4.2 0.99	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	170 53.6%	73 23.0%	41 12.9%	5 1.6%	3 0.9%	25 7.9%	4.4 0.86	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	150 47.3%	94 29.7%	35 11.0%	14 4.4%	4 1.3%	20 6.3%	4.3 0.93	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	157 49.5%	83 26.2%	40 12.6%	10 3.2%	8 2.5%	19 6.0%	4.2 0.99	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	159 50.2%	95 30.0%	30 9.5%	16 5.0%	6 1.9%	11 3.5%	4.3 0.97	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	130 41.0%	126 39.7%	28 8.8%	18 5.7%	8 2.5%	7 2.2%	4.1 0.98	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	192 60.6%	69 21.8%	28 8.8%	2 0.6%	8 2.5%	18 5.7%	4.5 0.89	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	159 50.2%	106 33.4%	33 10.4%	7 2.2%	5 1.6%	7 2.2%	4.3 0.87	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	128 40.4%	113 35.6%	37 11.7%	18 5.7%	10 3.2%	11 3.5%	4.1 1.03	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	125 39.4%	56 17.7%	61 19.2%	2 0.6%	2 0.6%	71 22.4%	4.2 0.90	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	145 45.7%	100 31.5%	44 13.9%	14 4.4%	6 1.9%	8 2.5%	4.2 0.97	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

### <評価レーダーチャート>



### <評価値の経年変化>



### <観光産業学科専門科目>

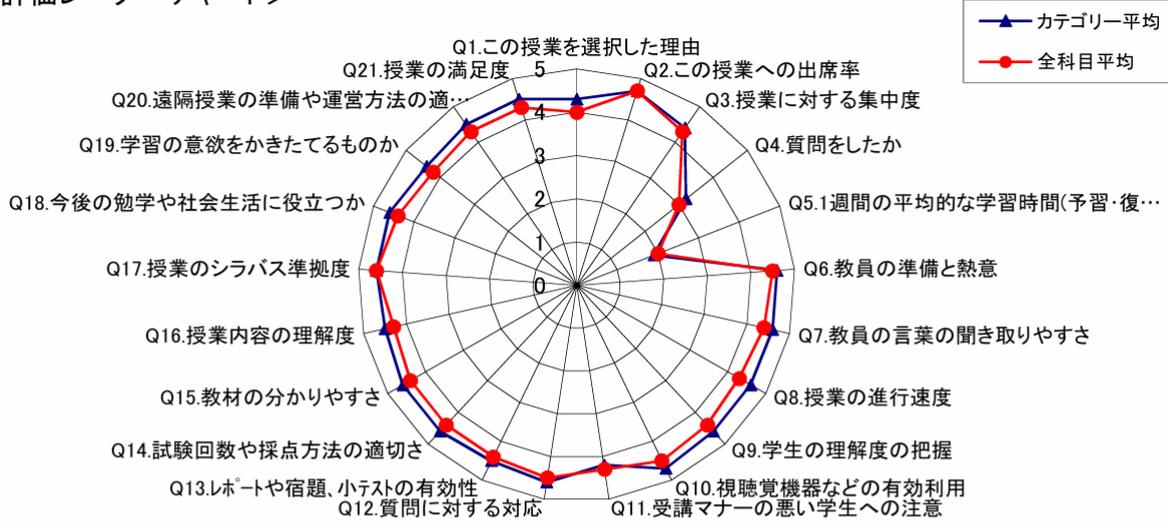
評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、ほぼすべての項目において全科目平均よりも高い結果となりました。「Q8. 授業の進行速度」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q15.教材の分かり易さ」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」などが高い評価を得ています。また、これらの項目は、評価値の経年変化でも、前年度カテゴリー平均よりも上回っています。自由記述欄において、「良かった点」は、49件ありました。画像や動画などを用いたイメージのつきやすい授業方法が評価されていました。また、「改善して欲しい点」は、13件あり、進行速度、評価方法、教室環境など、多岐にわたりましたが、これらの大半は個々の教員による改善により解消できる内容が多くありました。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値  
下段:標準偏差

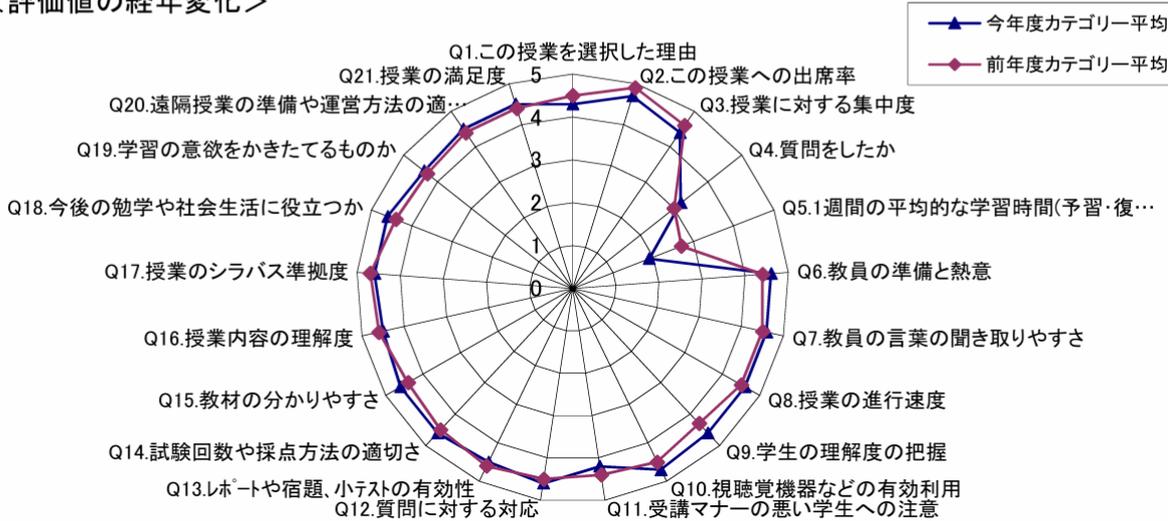
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カリコリ	全科目
Q1. この授業を選択した理由	166 58.2%	59 20.7%	35 12.3%	14 4.9%	4 1.4%	7 2.5%	4.3 0.97	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	211 74.0%	67 23.5%	6 2.1%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.52	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	151 53.0%	108 37.9%	22 7.7%	2 0.7%	0 0.0%	2 0.7%	4.4 0.67	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	60 21.1%	54 18.9%	75 26.3%	33 11.6%	50 17.5%	13 4.6%	3.2 1.38	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	21 7.4%	18 6.3%	18 6.3%	87 30.5%	141 49.5%	0 0.0%	1.9 1.21	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	191 67.0%	72 25.3%	14 4.9%	4 1.4%	1 0.4%	3 1.1%	4.6 0.68	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	198 69.5%	60 21.1%	20 7.0%	2 0.7%	1 0.4%	4 1.4%	4.6 0.68	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	186 65.3%	72 25.3%	17 6.0%	4 1.4%	2 0.7%	4 1.4%	4.6 0.74	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	184 64.6%	68 23.9%	23 8.1%	2 0.7%	0 0.0%	8 2.8%	4.6 0.68	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	203 71.2%	61 21.4%	12 4.2%	1 0.4%	1 0.4%	7 2.5%	4.7 0.61	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	127 44.6%	45 15.8%	57 20.0%	3 1.1%	2 0.7%	51 17.9%	4.2 0.92	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	190 66.7%	54 18.9%	23 8.1%	1 0.4%	1 0.4%	16 5.6%	4.6 0.69	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	168 58.9%	80 28.1%	27 9.5%	1 0.4%	1 0.4%	8 2.8%	4.5 0.71	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	176 61.8%	74 26.0%	18 6.3%	2 0.7%	0 0.0%	15 5.3%	4.6 0.65	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	182 63.9%	71 24.9%	22 7.7%	2 0.7%	0 0.0%	8 2.8%	4.6 0.67	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	161 56.5%	91 31.9%	27 9.5%	2 0.7%	0 0.0%	4 1.4%	4.5 0.70	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	192 67.4%	64 22.5%	14 4.9%	1 0.4%	1 0.4%	13 4.6%	4.6 0.63	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	177 62.1%	83 29.1%	15 5.3%	4 1.4%	0 0.0%	6 2.1%	4.6 0.67	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	163 57.2%	87 30.5%	24 8.4%	4 1.4%	2 0.7%	5 1.8%	4.4 0.77	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	144 50.5%	51 17.9%	38 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	52 18.2%	4.5 0.76	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	178 62.5%	79 27.7%	19 6.7%	3 1.1%	1 0.4%	5 1.8%	4.5 0.70	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<専門キャリアアップ科目>

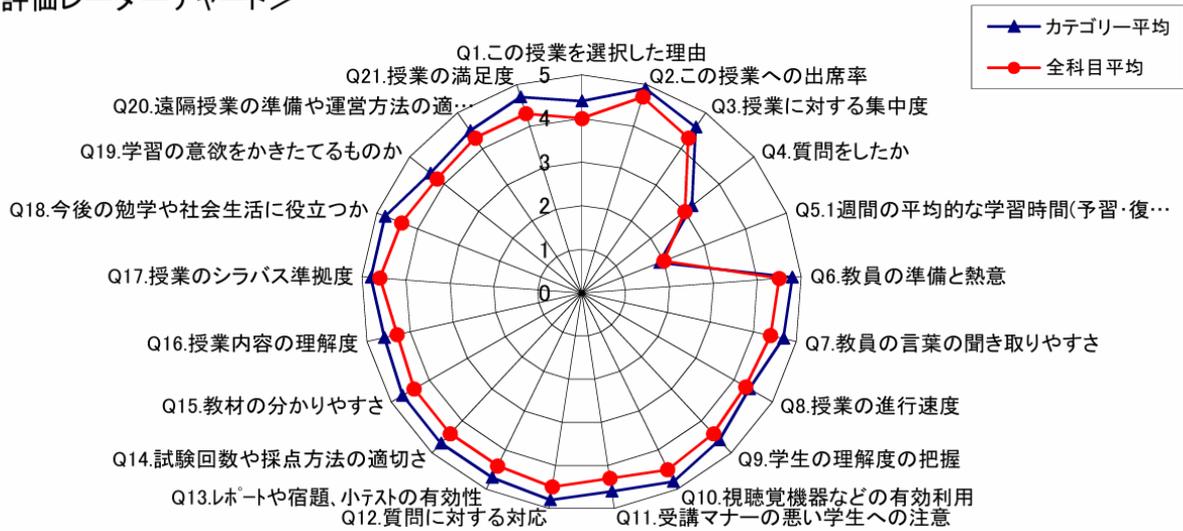
評価レーダーチャートより、カテゴリ平均は、ほぼすべての項目において全科目平均よりも高い結果となりました。このカテゴリは、資格試験を意識した専門キャリアアップ科目という特性があり、受講する学生が高い目的意識をもっていることが伺えます。しかしながら、評価値の経年変化では、前年度カテゴリ平均から低下している項目が目立ち、「Q5 週間の平均的な学習時間（予習・復習）」および「Q8. 授業の進行速度」が低い評価となっています。自由記述内容を見ると、「良かった点」は29件 ありました。「改善して欲しい点」は5件あり、全て、授業速度の速さ、密度の高さに関するコメントでした。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値  
下段:標準偏差

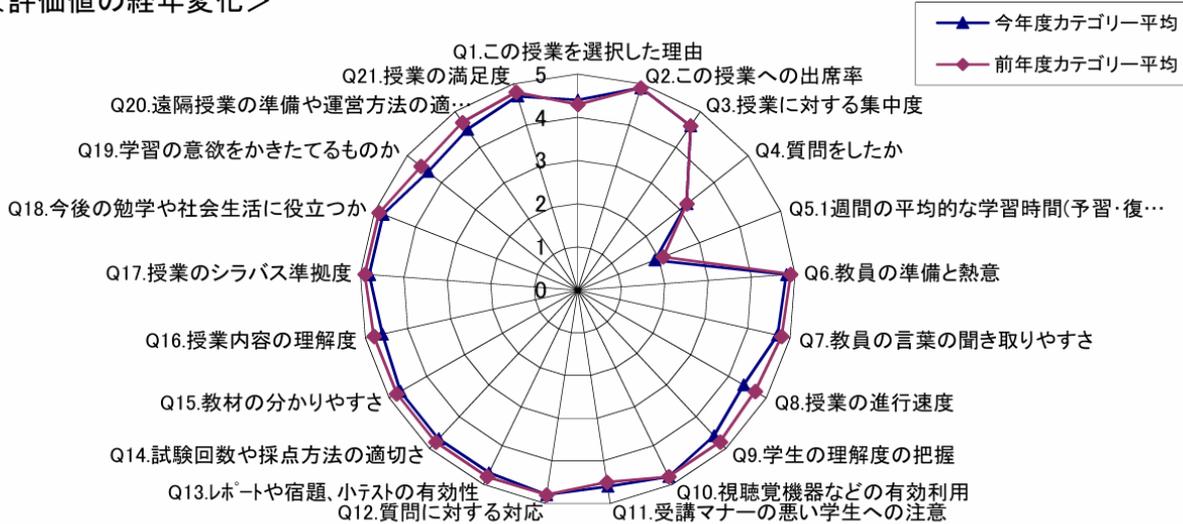
質問内容	5	4	3	2	1	0-無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	60 48.8%	56 45.5%	5 4.1%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	4.4 0.61	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	112 91.1%	11 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.29	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	75 61.0%	43 35.0%	5 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.57	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	23 18.7%	21 17.1%	43 35.0%	15 12.2%	17 13.8%	4 3.3%	3.2 1.28	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	6 4.9%	2 1.6%	16 13.0%	49 39.8%	50 40.7%	0 0.0%	1.9 1.02	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	100 81.3%	20 16.3%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	4.8 0.55	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	84 68.3%	38 30.9%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.52	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	75 61.0%	33 26.8%	10 8.1%	3 2.4%	2 1.6%	0 0.0%	4.4 0.87	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	84 68.3%	30 24.4%	7 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.6%	4.6 0.59	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	96 78.0%	19 15.4%	5 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.4%	4.8 0.52	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	83 67.5%	18 14.6%	15 12.2%	0 0.0%	0 0.0%	7 5.7%	4.6 0.71	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	93 75.6%	15 12.2%	6 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	9 7.3%	4.8 0.54	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	94 76.4%	27 22.0%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.51	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	96 78.0%	23 18.7%	1 0.8%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	4.7 0.55	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	97 78.9%	23 18.7%	1 0.8%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.55	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	79 64.2%	38 30.9%	5 4.1%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.61	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	100 81.3%	20 16.3%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	4.8 0.44	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	103 83.7%	20 16.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.37	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	66 53.7%	47 38.2%	6 4.9%	2 1.6%	1 0.8%	1 0.8%	4.4 0.74	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	69 56.1%	12 9.8%	18 14.6%	0 0.0%	0 0.0%	24 19.5%	4.5 0.78	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	88 71.5%	33 26.8%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.53	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

### <評価レーダーチャート>



### <評価値の経年変化>



### <教職科目に関する科目>

前期と同様の傾向が見られます。後期も評価レーダーチャートでは、全科目平均よりもカテゴリの平均が高い結果となっており、全科目的に低い傾向のある「Q4質問をしたか」が高い平均値を示しています。教職課程という少数且つ同一の学生達による受講という形態が、質問のしやすい環境を作っていると考えられます。また同様に、後期においても前年度よりもカテゴリ平均が総じて低くなっており、その特性そのものが学生の授業評価への同調性を生み出している可能性があります。これらのことは、前期でも指摘したことでありますが、受講者が少数であるという教職課程の受講形態の特性を活かした講義の構築によって少人数教育のメリットとの相乗効果を作り出せるということを示しています。

一方で、教職科目でのアンケート回収率の低さが気になります。上記の同調性が影響しているとも思われますが、だからこそ、アンケートの回収ができるようにしっかりと声かけをするようにしてください。

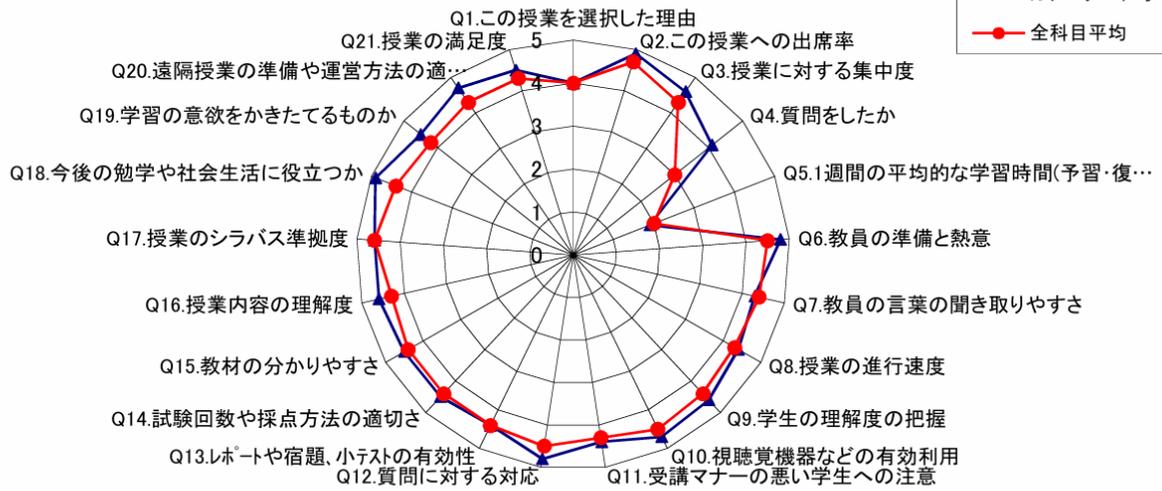
回答分布(人数と平均値・標準偏差)

上段:平均値  
下段:標準偏差

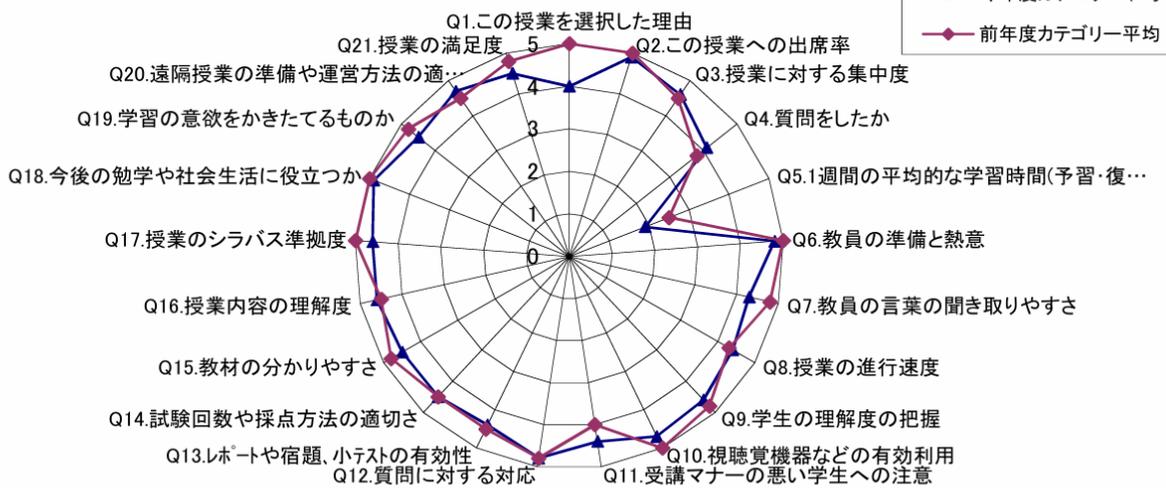
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
Q1. この授業を選択した理由	6 42.9%	2 14.3%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.0 0.93	4.0 1.10
Q2. この授業への出席率	12 85.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.35	4.7 0.53
Q3. 授業に対する集中度	9 64.3%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.48	4.3 0.76
Q4. 質問をしたか	6 42.9%	4 28.6%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.1 0.83	3.0 1.39
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	6 42.9%	6 42.9%	0 0.0%	1.9 1.06	2.0 1.18
Q6. 教員の準備と熱意	11 78.6%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.41	4.5 0.80
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	7 50.0%	4 28.6%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.3 0.80	4.4 0.91
Q8. 授業の進行速度	8 57.1%	3 21.4%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.81	4.3 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	8 57.1%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.50	4.4 0.88
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	10 71.4%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.45	4.5 0.77
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	9 64.3%	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.82	4.3 0.96
Q12. 質問に対する対応	11 78.6%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.41	4.5 0.81
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	7 50.0%	5 35.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.72	4.4 0.86
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	8 57.1%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.63	4.4 0.87
Q15. 教材の分かりやすさ	8 57.1%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.63	4.4 0.93
Q16. 授業内容の理解度	8 57.1%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.50	4.3 0.91
Q17. 授業のシラバス準拠度	8 57.1%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.50	4.6 0.73
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	13 92.9%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.26	4.4 0.87
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	8 57.1%	3 21.4%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	4.5 0.75	4.2 0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	9 64.3%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	4.7 0.62	4.3 0.90
Q21. 授業の満足度	8 57.1%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.63	4.3 0.88

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

### <評価レーダーチャート>



### <評価値の経年変化>



北海商科大学 教育方法改善委員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161